

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2021年2月12日

商工中金

新型コロナウイルス感染症に立ち向かう 地域に根ざした食文化企業 広島駅弁当株式会社様を金融面からサポート

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（広島支店）は、広島駅弁当株式会社様（本社：広島県広島市、代表者：中島 和雄様）に対し、新型コロナウイルス感染症の予防対策に必要な設備資金等1億円を期間10年期限一括償還型の資本性劣後ローンで融資しました。

同社は、1901年に駅弁当事業を始めた老舗企業で、駅弁当の販売、給食や惣菜製造販売等を行う食料品製造業者です。HACCPに対応した工場を複数保有し、1日当たり50,000食の製造能力の持ち、日本で初めて民設民営の給食を提供する等、西日本で有数の規模を誇っています。

今回、同社は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う観光客減少などの影響を受け、一時的に損失計上を迫られました。一方、こうした状況下においても中食やデリバリー需要の拡大に 대응するため、専用の厨房設備や空調設備等への投資を行い、関係機関のガイドラインに則った新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた事業性評価を行い、同社の事業計画を検証。重点分野として、高齢者施設向けフレイル予防食や給食事業等への注力、不採算事業縮小などへの取り組みが、更なる企業価値向上に繋がると判断。同計画をメインバンクの広島銀行やもみじ銀行と共有し、民間金融機関が必要な運転資金を、商工中金は、10年期限一括償還型の資本性劣後ローンを提供し、財務基盤の拡充と金融取引体制の強化をサポートしました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、地域金融機関や関係機関と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【広島駅弁当株式会社様の概要】

所在地	広島県広島市東区矢賀 5-1-2
代表者	中島 和雄様
資本金	9,250万円
従業員数	585名（2020年12月現在）
設立	1943年3月
業種	弁当・惣菜等製造販売業

